

平成25年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省25-2-2)

政策名	2 個別産業	施策名	2-2 サービス			
施策の概要	日本の優れたサービスやものづくり技術を活かして成長産業として支援するため、①健康寿命延伸産業の育成、②医療機器・医療サービスの国際展開、③日本の優れた「ものづくり技術」を活かした医療機器開発、④サービス産業の人材育成等をおこない、以て付加価値の高いサービス産業の創出を図る。					
達成すべき目標	日本再興戦略で示されているとおり、付加価値の高いサービス産業の創出をはかる。特に、日本再興戦略の柱の一つである国民の「健康寿命」の延伸のため、健康増進・予防や生活支援を担う市場・産業を戦略分野として創出・育成する。また、優れた医療技術の核となる医療機器について、日本の強みともなるものづくり技術も活かしながら、その実用化を推進し、世界最先端の革新的製品を創出する。また、サービス産業の生産性向上のために産官学のプラットフォームとして設立された、サービス産業生産性協議会(SPRING)の活動参加企業数を拡大し、SPRINGを通じた業種横断的な生産性向上運動を全国に普及させる。					
施策の予算額、執行額等	区分		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	2,977	4,970	4,840	4,893
		補正予算(b)	▲ 27	0	1,964	-
		繰越し等(c)	5,463	▲ 292	▲ 1,708	
		合計(a+b+c)	8,413	4,678	5,096	
執行額(百万円)		7,750	4,050	4,358		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	日本再興戦略、健康・医療戦略					

測定指標	健康増進・予防、生活支援関連産業の市場規模(兆円)	基準値	実績値					目標値	達成
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	未達成
		4.0	4.5	-	-	-	-	10	
	年度ごとの目標値又は見込み		5.0	6.0	7.0	8.0	9.0		
	海外における日本の医療拠点数(力所)※累積	基準値	実績値					目標値	達成
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	未達成
		-	1	-	-	-	-	10	
	年度ごとの目標値又は見込み		3	4	5	6	7		
	中小の技術を活かした医療機器等の実用化件数	基準値	実績値					目標値	達成
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	達成
		10	15	-	-	-	-	100	
	年度ごとの目標値又は見込み		15	27	40	50	60		
サービス産業生産性協議会(SPRING)活動参加企業数	基準値	実績値					目標値	達成	
	25年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	達成	
	175	780	-	-	-	-			
年度ごとの目標値又は見込み		175	1750	-	-	-			

参考指標	国内医療機器市場規模	基準値	実績値					
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	2.6	測定中	-	-	-	-	-	-
年度ごとの見込み		2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり ①グレーゾーン解消制度により2件の新事業が実施可能となったこと、実証事業による6件の基盤整備、18件の新たなサービス創出の支援を行ったことにより、市場規模の拡大に繋がっている。 ②ロシアにて初の事業化。インドネシア、カンボジアにおいても各々事業化目前。それ以外の地域においても事業化候補案件が着実に組成されつつある。 ③課題解決型医療機器等開発支援事業採択案件において、平成25年度末までに15件が上市を行い、また、今後も多くの案件が事業化を達成する見込みとなっている。 ④シンポジウム等を全国各地で開催したことにより、SPRINGの活動への参加企業数は25年度末時点で順調に増加している。
	施策の分析	①「健康寿命延伸産業」はまだ一つの産業分野として確立しておらず、産業として黎明期にある。また、医療・介護と近接する産業であることから、関連法の規制の適用範囲が不明瞭な分野が存在し、事業創出の阻害要因となっている。基盤整備、新サービスの創出支援は施策目標に効率的に寄与しているものとする。 ②医療機器・サービスの国際展開に関する認知度は着実に向上しているが、医療周辺事業者も含めたさらなる認知度向上、国際展開への参画が必要。そのためには先行事例の積み上げが有効であり、医療機器・サービス国際化推進事業による支援が必要である。 ③世界の医療機器産業については、年間8%程度の成長率が見込まれているが、輸入超過の状態が続いている。そのため、革新的医療機器の開発支援による輸出力の強化を行うとともに、中小企業等のものづくり技術力を活用し、国内シェアの回復を進める。また、効果的・効率的な医療機器開発のため、関係機関等による連携構築が必要である。 ④サービス産業の個別の業界団体は存在するものの、業種横断的に、生産性向上(高付加価値化を含む)の取組を行っている組織はSPRINGのみ。このため、SPRINGの活動への参加企業数を拡大することは、サービス産業全体を底上げするために有効な方策。
	次期目標等への反映の方向性	①国民の「健康寿命」の延伸のため、市場規模を拡大すべく、健康増進・予防や生活支援を担う市場・産業を戦略分野として今後とも創出・育成する。 ②医療機器・サービスの国際展開に際して、海外における日本式医療拠点を整備することは、日本式医療の認知度向上、現地医療関係者のトレーニング、日本製医療機器のショールーム機能といった観点から有効な手法。 ③日本の優れた「ものづくり技術」を活かした医療機器開発を進めるため、医療機器の実用化件数を増加させることは有効な手法。 ④SPRINGの活動参加企業数の拡大を図り、生産性向上の取組を広く普及していく。併せて、SPRINGの活動内容自体を強化していく。

学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	①2011ヘルスマネジメント関連市場の現状と将来展望等 ②平成24年度薬事工業生産動態統計年報等 ③平成24年度薬事工業生産動態統計年報等 ④SPRING幹事会報告資料
---------------------------	---

担当部局名	商務情報政策局	政策評価実施時期	平成26年8月
-------	---------	----------	---------